

# 令和5年度 学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない

## ①いのちを大切にできる心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

1 一人一人の児童生徒の尊重	2 道徳・心の教育の充実
学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。	学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）
考察：1，2については、昨年同様「4」「3」を占める割合が8割越えである。子ども基本法を踏まえた学習や子どもの視点を大切にされた実践、泉っ子輝き月間等の取組を重ねていることが一定の理解につながっていると思われる。反面「わからない」と回答した保護者が増加している。学校での取組の保護者への周知をより心がける必要がある。	

## ②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

3 授業力向上	4 タブレット端末活用
先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。
考察：3の授業力向上について、保護者の「4」の割合は15%伸びている。4のタブレット端末活用について生徒の「4」の割合は伸びているが、教職員は30%低下している。ICT機器を活用した効果的が授業実践には一定の評価を得ているといえるが、教職員については情報教育担当、研究部を中心に更なる職員のスキル向上に取り組み、意識の向上を図りたい。	

## ③教員が子どもと向き合うための体制の整備

5 学校の支援体制	6 共生社会を担う人材の育成
学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。
考察：コロナ禍で中止していた行事等を今年度は復活させてきたが、5の学校の支援体制と6の共生社会を担う人材の育成について、「分からない」と回答した保護者が昨年同様の傾向を示している。校内では支援委員会を毎月開催し情報共有を密に行い、対応を検討してきたが取組の経緯の説明不足が起因していると考えられる。学校の実践状況を保護者へ周知する手だてを十分検討していきたい。	

#### ④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

7 安全と事故防止	8 家庭や地域との連携協力																																										
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。																																										
<table border="1"> <caption>7 安全と事故防止に関する回答割合</caption> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>「4」</th> <th>「3」</th> <th>「2」</th> <th>「1」</th> <th>「わからない」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>30%</td> <td>45%</td> <td>15%</td> <td>5%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>70%</td> <td>25%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>45%</td> <td>55%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	回答者	「4」	「3」	「2」	「1」	「わからない」	保護者	30%	45%	15%	5%	5%	生徒	70%	25%	5%	0%	0%	教職員	45%	55%	0%	0%	0%	<table border="1"> <caption>8 家庭や地域との連携協力に関する回答割合</caption> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>「4」</th> <th>「3」</th> <th>「2」</th> <th>「1」</th> <th>「わからない」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>25%</td> <td>45%</td> <td>20%</td> <td>5%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>35%</td> <td>65%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	回答者	「4」	「3」	「2」	「1」	「わからない」	保護者	25%	45%	20%	5%	5%	教職員	35%	65%	0%	0%	0%
回答者	「4」	「3」	「2」	「1」	「わからない」																																						
保護者	30%	45%	15%	5%	5%																																						
生徒	70%	25%	5%	0%	0%																																						
教職員	45%	55%	0%	0%	0%																																						
回答者	「4」	「3」	「2」	「1」	「わからない」																																						
保護者	25%	45%	20%	5%	5%																																						
教職員	35%	65%	0%	0%	0%																																						
<p>考察：7の安全と事故防止について、生徒・教職員は「4」「3」と回答した割合が微増しているが、「わからない」と回答した保護者が微増している。取組の保護者への周知を心がけたい。8の家庭や地域との連携協力は、PTA活動や地域行事等を状況を見ながら再開・復活させてきたことで、昨年度と比べ増加傾向につながっていると考えられる。</p>																																											

### 来年度の具体的な取組について

- ・主体的に学び、更なる学力向上を目指し、質の高い学びを提供できるよう、校内研修の工夫・充実を図り、個々の教職員の授業力向上に取り組むとともに、取組の様子を保護者・地域に啓発する場や機会を工夫する。
- ・PTAや地域の方々の協力を得ながら、子ども・保護者・地域が三位一体となって取り組む活動について協議し、家庭や地域と連携した教育活動を復活させたり新しく企画し、無理なく安心して持続できるようにする。
- ・特別支援教育への理解を深めるために、本校の取組の様子や啓発の機会を積極的に工夫・設定する。

### 学校関係者評価

- ・地域の協力を得ながら様々な教育活動が創意工夫されており、子ども達が落ち着いた環境のもとで安心して学習に取り組んでいる。
- ・感染症対策には今後も継続的に留意しながら、学校教育目標の実現に向けて制限されてきた教育活動を復活させて欲しい。
- ・タブレットを活用した授業がどのクラスも実施されており、子ども達も非常に操作に慣れている。
- ・朝からの登校時に気持ちよく挨拶してくれる子どもが多く、大変気持ちが良い。
- ・教職員の超過勤務時間を減らし、健康管理には十分配慮して欲しい。